

2024年10月30日

原料費調整制度に基づく2024年12月検針分のガス料金について
(東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年12月検針分の単位料金を調整した結果、2024年11月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき9.11円 (消費税込) 上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2024年11月検針分と比較して、274円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2024年12月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	177.92	163.07	160.87	157.57	148.77	141.07
(参考) 11月 調整単位料金	168.81	153.96	151.76	148.46	139.66	131.96

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2024年 11月 ^{*1}	2024年 12月	増減
適用料金(円/月)	5,674	5,948	274

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2018年度～2022年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。なお、口座振替割引は2025年3月検針分より廃止いたします。

*1 経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い、10円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2024年6月～2024年8月 の平均 (11月検針分)	2024年7月～2024年9月 の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	94,910	93,880	▲ 1,030
LNG	94,610	93,630	▲ 980
LPG	95,700	93,870	▲ 1,830

基準平均原料価格(b)	57,250	
-------------	--------	--

差額(a-b)	37,600	36,600	▲ 1,000
---------	--------	--------	---------

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 93,630 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 93,870 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

93,877.17

↓(10円未満四捨五入)

93,880 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$93,880 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = 36,630 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

36,600 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 36,600 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0891^{*2}$$

$$= 32.61 \text{ 円}^{*3}$$

*2 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \text{32.61 円} \times 30 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{基準単位料金(税込) ↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \\ &= 5,948 \text{ 円} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。